



2021年度（2022年3月期）
第1四半期決算

参考資料

2021年8月4日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120
IR部： TEL 070-8688-9685
<https://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性は、次のとおりです。ただし、これらは当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。

なお、これらは本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

企業理念にもとづく経営に関するリスク、ADフランチャイズの構築に関するリスク、レンビマの価値最大化に関するリスク、パートナーシップモデルに関するリスク、デジタルトランスフォーメーションに関するリスク、新薬開発の不確実性に関するリスク、副作用発現のリスク、製品品質および安定供給に関するリスク、知的財産に関するリスク、訴訟に関するリスク、データの信頼性に関するリスク、医療費抑制策に関するリスク、サクセッションに関するリスク、情報セキュリティに関するリスク、新型コロナウイルス感染症に関するリスク、気候変動に関するリスク、のれんや無形資産の減損に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2020年度 第1四半期	期中平均レート	107.62	118.47	133.52	15.17
	期末日レート	107.74	121.08	132.51	15.23
2020年度 通期	期中平均レート	106.06	123.70	138.68	15.67
	期末日レート	110.71	129.80	152.23	16.84
2021年度 第1四半期	期中平均レート	109.49	131.96	153.20	16.95
	期末日レート	110.58	131.58	153.16	17.11
2021年度	予想レート	104.50	123.50	136.50	15.50

- 前回発表した通期の業績予想を修正しています。修正箇所には下線を付しています。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準（IFRS）にて開示しています。
- 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）、アジア・ラテンアメリカ（韓国、台湾、香港、インド、アセアン、中南米等）、一般用医薬品等（日本）の6つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

	2020年度				2021年度				(億円、%)	
	1Q	売上比	通期	売上比	1Q	売上比	前同比	増減額	2021年度 通期予想 今回修正	前回発表
売上収益	1,656	100.0	6,459	100.0	1,989	100.0	120.1	333	7,010	6,810
売上原価	383	23.1	1,613	25.0	392	19.7	102.5	10	1,580	1,580
売上総利益	1,273	76.9	4,846	75.0	1,596	80.3	125.4	323	5,430	5,230
販売費及び一般管理費	649	39.2	2,814	43.6	747	37.6	115.1	98	3,215	3,210
販売費	282	17.0	1,166	18.1	324	16.3	115.0	42	—	—
人件費	220	13.3	906	14.0	227	11.4	102.9	6	—	—
管理費他	147	8.9	742	11.5	197	9.9	133.6	49	—	—
研究開発費	305	18.4	1,503	23.3	418	21.0	137.0	113	1,590	1,600
その他の収益	7	0.4	15	0.2	134	6.8	1892.7	127	135	160
その他の費用	4	0.3	26	0.4	11	0.6	260.9	7	—	—
営業利益	321	19.4	518	8.0	554	27.9	172.5	233	760	580
金融収益	7	0.4	21	0.3	7	0.4	115.1	1	—	—
金融費用	3	0.2	14	0.2	4	0.2	115.7	1	—	—
税引前四半期（当期）利益	324	19.6	526	8.1	558	28.0	171.9	233	765	585
法人所得税	77	4.6	101	1.6	135	6.8	175.1	58	—	—
四半期（当期）利益	248	14.9	425	6.6	423	21.3	170.9	176	590	450
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	244	14.8	421	6.5	422	21.2	172.6	177	585	445
非支配持分	3	0.2	4	0.1	1	0.1	43.8	△2	—	—

四半期（当期）包括利益	237	14.3	710	11.0	424	21.3	178.9	187
-------------	-----	------	-----	------	-----	------	-------	-----

EPS（円）	85.23	146.95	147.07	208.00	158.00
DPS（円）	—	160.0	—	160.0	160.0
ROE（%）	—	6.1	—	8.2	6.7
DOE（%）	—	6.6	—	6.3	6.7

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS：基本的1株当たり四半期（当期）利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤「レンビマ」が引き続き伸長：当期 442億円、前年同期 347億円 抗体薬物複合体「MORAb-202」に関するBristol Myers Squibb（以下、BMS社）との戦略的提携による一時金計上：496億円
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> 米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上：当期 198億円、前年同期 165億円 アルツハイマー病治療剤「ADUHELM」（一般名：アデユカヌマブ）上市に関する費用計上：当期 64億円、前年同期 30億円
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> 「レンビマ」、「ADUHELM」ならびに抗アミロイドβプロトフィブリル抗体lecanemab（一般名）などへの積極的な資源投入による増加 パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制（パートナー負担額：当期 108億円、前年同期 166億円）
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> 抗てんかん剤「Zongran」の欧州、中東、ロシア、オーストラリアにおける権利譲渡益計上
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：+72.0億円、営業利益：+46.5億円
■為替感応度 （1円の円高に対しての年間影響額）	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：米ドル △32.0億円、ユーロ △2.9億円、英ポンド △0.6億円、人民元 △63.4億円 営業利益：米ドル △3.2億円、ユーロ △6.3億円、英ポンド +0.8億円、人民元 △44.8億円

2. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2020年度		2021年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	1,484	5,861	1,472	99.2	95.3
日本 医薬品事業	597	2,319	496	83.1	83.1
アメリカス 医薬品事業	342	1,428	383	112.1	110.0
米国	338	1,409	377	111.7	109.7
中国 医薬品事業	238	851	269	112.6	100.8
EMEA 医薬品事業	134	552	141	105.2	94.8
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	111	459	131	118.3	109.8
一般用医薬品等	61	252	52	84.8	84.8
その他事業	172	599	517	300.3	292.5
連結売上収益	1,656	6,459	1,989	120.1	115.8

* 外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2020年度		2021年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業（報告セグメント）計	685	2,384	768	112.0	104.7
日本 医薬品事業	253	839	156	61.9	61.9
アメリカス 医薬品事業	172	647	179	104.2	102.3
中国 医薬品事業	138	404	159	114.9	100.3
EMEA 医薬品事業	66	257	208	315.7	282.0
アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業	43	186	59	137.6	126.8
一般用医薬品等	14	51	7	49.0	49.0
その他事業	151	515	498	329.3	320.9
研究開発費	△305	△1,503	△418	137.0	132.7
親会社の本社管理費等*	△210	△878	△294	139.8	138.3
連結営業利益	321	518	554	172.5	158.0

* パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業（医療用医薬品）

(億円、%)

	2020年度		2021年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	597	2,319	496	83.1
セグメント利益	253	839	156	61.9
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	125	520	114	91.7
不眠症治療剤 ルネスタ	36	139	29	81.1
抗がん剤 レンビマ	37	122	25	67.7
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	33	124	24	74.9
抗がん剤 ハラヴェン	22	85	20	88.5
不眠症治療剤 デエビゴ	1	20	19	1874.6
抗リウマチ剤 ケアラム	20	78	18	91.9
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	29	93	18	62.1
プロトンポンプ阻害剤 バリエット*	22	79	17	76.3
成分栄養剤 エレンタール*	17	66	17	99.0
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	61	215	16	25.5
慢性便秘症治療剤 グーフイス*	11	50	14	125.1
抗てんかん剤 フィコンパ	12	51	12	100.6

・バリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

* EAファーマの取り扱い製品です。

3) 中国 医薬品事業

(億円、%)

	2020年度		2021年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	238	851	269	112.6 <100.8>
セグメント利益	138	404	159	114.9 <100.3>
中国 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ (百万人民元)	42 (275)	185 (1,178)	105 (621)	252.6 <226.0>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール (百万人民元)	69 (454)	175 (1,116)	33 (194)	47.7 <42.7>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠 (百万人民元)	24 (158)	101 (643)	23 (136)	96.8 <86.6>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット (百万人民元)	17 (113)	67 (430)	23 (134)	132.2 <118.3>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト (百万人民元)	22 (145)	58 (367)	14 (80)	61.6 <55.1>
抗がん剤 ハラヴェン (百万人民元)	1 (8)	16 (100)	9 (55)	769.4 <688.6>
抗てんかん剤 Fycompa (百万人民元)	1 (6)	5 (30)	2 (13)	257.6 <230.6>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

(億円、%)

	2020年度		2021年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	134	552	141	105.2 <94.8>
セグメント利益	66	257	208	315.7 <282.0>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ/Kispalyx	39	158	48	123.7 <111.6>
抗がん剤 ハラヴェン	32	124	34	108.5 <98.4>
抗てんかん剤 Fycompa	17	76	22	125.4 <112.5>
抗てんかん剤 イノバロン	6	25	7	120.0 <106.9>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) アジア・ラテンアメリカ 医薬品事業

(億円、%)

	2020年度		2021年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	111	459	131	118.3 <109.8>
セグメント利益	43	186	59	137.6 <126.8>
アジア・ラテンアメリカ 主力品売上収益				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	26	109	30	117.2 <107.5>
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	20	85	21	105.5 <95.3>
抗がん剤 レンビマ	14	65	20	140.6 <130.7>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	13	40	12	93.0 <87.2>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	6	30	9	152.0 <144.4>
抗がん剤 ハラヴェン	7	26	6	84.7 <78.2>
抗てんかん剤 Fycompa	3	13	4	114.8 <106.7>

- ・前同士の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

6) 一般用医薬品等

(億円、%)

	2020年度		2021年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
売上収益	61	252	52	84.8
セグメント利益	14	51	7	49.0
一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	31	134	35	113.5

4. 主力品売上収益

1) ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2020年度		2021年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
ニューロロジー領域製品計	438	1,614	341	77.8 <74.6>
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	64	267	74	116.0 <110.6>
日本	12	51	12	100.6
アメリカス	30	122	34	112.9 <110.5>
中国	1	5	2	257.6 <230.6>
EMEA	17	76	22	125.4 <112.5>
アジア・ラテンアメリカ	3	13	4	114.8 <106.7>
メチコバル (末梢性神経障害治療剤)	109	342	68	62.2 <58.6>
日本	33	124	24	74.9
中国	69	175	33	47.7 <42.7>
アジア・ラテンアメリカ	6	30	9	152.0 <144.4>
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	78	263	63	81.2 <76.0>
日本	29	93	18	62.1
中国	22	58	14	61.6 <55.1>
アジア・ラテンアメリカ	26	109	30	117.2 <107.5>
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	59	220	37	62.6 <60.4>
アメリカス	51	189	28	55.1 <54.0>
EMEA	6	25	7	120.0 <106.9>
ルネスタ (不眠症治療剤) ・日本	36	139	29	81.1
デエビゴ/Dayvigo (不眠症治療剤)	1	31	26	2040.3 <2025.4>
日本	1	20	19	1874.6
アメリカス	0	11	8	2584.9 <2520.8>
リリカ (疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症)) ・日本	61	215	16	25.5
その他	30	136	28	92.2 <87.3>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。

・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2020年度		2021年度	
	1Q	通期	1Q	前同比
オンコロジー領域製品計	477	1,833	561	117.6 <111.6>
レンビマ/Kisplyx (抗がん剤)	347	1,339	442	127.4 <121.1>
日本	37	122	25	67.7
アメリカス	215	810	244	113.1 <111.1>
中国	42	185	105	252.6 <226.0>
EMEA	39	158	48	123.7 <111.6>
アジア・ラテンアメリカ	14	65	20	140.6 <130.7>
ハラヴェン (抗がん剤)	94	376	102	108.5 <102.8>
日本	22	85	20	88.5
アメリカス	32	126	33	102.5 <100.5>
中国	1	16	9	769.4 <688.6>
EMEA	32	124	34	108.5 <98.4>
アジア・ラテンアメリカ	7	26	6	84.7 <78.2>
その他	36	118	17	47.1 <43.2>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し（2021年度）

（億円）

	2020年度		2021年度		
	1Q	通期	1Q	今回修正	前回発表
日本（医療用医薬品）	597	2,319	496	2,070	2,070
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	125	520	114	460	460
抗がん剤 レンビマ	37	122	25	125	125
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	33	124	24	105	105
抗がん剤 ハラヴェン	22	85	20	75	75
抗リウマチ剤 ケアラム	20	78	18	75	75
慢性便秘症治療剤 グーフィス*	11	50	14	70	70
抗てんかん剤 フィコンパ	12	51	12	65	65
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	29	93	18	65	65
成分栄養剤 エレンタール*	17	66	17	65	65
不眠症治療剤 ルネスタ	36	139	29	60	60
アメリカス	342	1,428	383	1,545	1,545
米国	338	1,409	377	1,520	1,520
中国	238	851	269	910	910
EMEA	134	552	141	555	555
アジア・ラテンアメリカ	111	459	131	475	475
一般用医薬品等	61	252	52	260	260
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	31	134	35	130	130
その他	172	599	517	1,195	995
連結売上収益	1,656	6,459	1,989	7,010	6,810
主要品目グローバル売上収益					
レンビマ/Kisplyx	347	1,339	442	1,720	1,720
日本	37	122	25	125	125
アメリカス	215	810	244	1,045	1,045
中国	42	185	105	265	265
EMEA	39	158	48	205	205
アジア・ラテンアメリカ	14	65	20	80	80
ハラヴェン	94	376	102	350	350
日本	22	85	20	75	75
アメリカス	32	126	33	95	95
中国	1	16	9	25	25
EMEA	32	124	34	125	125
アジア・ラテンアメリカ	7	26	6	30	30
フィコンパ/Fycompa	64	267	74	320	320
日本	12	51	12	65	65
アメリカス	30	122	34	145	145
中国	1	5	2	10	10
EMEA	17	76	22	85	85
アジア・ラテンアメリカ	3	13	4	15	15

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

	2020年度		2021年度		
	1Q	通期	1Q	前同比	増減額
四半期（当期）利益	248	425	423	170.9	176
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	11	32	△ 12	—	△ 23
確定給付制度に係る再測定	—	32	—	—	—
小計	11	64	△ 12	—	△ 23
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	△ 22	220	13	—	34
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	1	0	63.6	△ 0
小計	△ 21	222	13	—	34
その他の包括利益合計	△ 10	286	1	—	12
四半期（当期）包括利益	237	710	424	179.0	187
四半期（当期）包括利益の帰属					
親会社所有者	234	706	423	180.8	189
非支配持分	3	4	1	43.3	△ 2

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2020年度	2021年度	
	1Q	1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	324	558	233
減価償却費及び償却費	87	95	8
運転資本の増減額（△は増加）	△ 229	△ 633	△ 404
利息及び配当金の受取額	7	7	△ 0
利息の支払額	△ 3	△ 3	△ 0
法人所得税の支払額	△ 71	△ 23	48
その他	△ 15	△ 143	△ 128
営業活動によるキャッシュ・フロー	100	△ 143	△ 243
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 88	△ 121	△ 33
無形資産の取得による支出	△ 32	△ 28	5
有形固定資産・無形資産の売却による収入	0	133	133
金融資産の取得による支出	△ 6	△ 5	1
金融資産の売却・償還による収入	0	22	22
小計<資本的支出等（キャッシュベース）>	△ 126	2	128
3カ月超預金の預入による支出	△ 0	△ 0	0
3カ月超預金の払戻による収入	1	-	△ 1
その他	1	△ 0	△ 1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 125	1	126
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	-	28	28
リース負債の返済による支出	△ 24	△ 25	△ 2
配当金の支払額	△ 229	△ 229	△ 0
その他	△ 1	2	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 254	△ 225	29
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	10	11
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 279	△ 357	△ 77
現金及び現金同等物の期首残高	2,542	2,487	△ 55
現金及び現金同等物の期末残高	2,263	2,131	△ 132

フリー・キャッシュ・フロー	△ 26	△ 141	△ 115
---------------	------	-------	-------

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
税引前四半期利益が増加した一方で、BMS社からの契約一時金の計上などにより運転資本が増加
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
研究設備および製造設備の増強を進めたことによる支出が発生した一方で、「Zonegran」の権利譲渡による収入が発生
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払いを実施

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2020年度		2021年度		
	1Q	通期	1Q	増減額	通期予想
資本的支出額（キャッシュベース）	121	381	149	28	560
有形固定資産	88	191	121	33	235
無形資産	32	190	28	△5	325
減価償却費及び償却費	87	363	95	8	365
有形固定資産	47	193	53	6	205
無形資産	40	170	42	2	160

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2020年度		2021年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,609	14.8	1,591	14.1	98.8	△19
のれん	1,718	15.8	1,716	15.2	99.9	△2
無形資産	1,086	10.0	1,109	9.8	102.1	22
その他の金融資産	438	4.0	405	3.6	92.4	△34
その他	196	1.8	193	1.7	98.5	△3
繰延税金資産	669	6.1	655	5.8	97.9	△14
非流動資産合計	5,717	52.4	5,668	50.2	99.2	△48
流動資産						
棚卸資産	851	7.8	899	8.0	105.6	47
営業債権及びその他の債権	1,603	14.7	2,363	20.9	147.4	760
その他の金融資産	3	0.0	5	0.0	184.5	2
その他	239	2.2	227	2.0	95.1	△12
現金及び現金同等物	2,487	22.8	2,131	18.9	85.7	△357
流動資産合計	5,183	47.6	5,625	49.8	108.5	442
資産合計	10,900	100.0	11,293	100.0	103.6	393

<コメント>

<p>■資産の部 （営業債権及びその他の債権） （現金及び現金同等物）</p>	<p>BMS社からの契約一時金および研究開発償還金の計上に伴う増加 配当金の支払い等に伴う減少</p>
---	---

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2020年度		2021年度			
	3月末	構成比	6月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.1	450	4.0	100.0	—
資本剰余金	776	7.1	776	6.9	100.0	△ 0
自己株式	△ 340	△ 3.1	△ 340	△ 3.0	99.9	0
利益剰余金	5,080	46.6	5,260	46.6	103.6	181
その他の資本の構成要素	1,066	9.8	1,079	9.6	101.2	13
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,032	64.5	7,226	64.0	102.8	194
非支配持分	248	2.3	248	2.2	100.2	0
資本合計	7,279	66.8	7,474	66.2	102.7	194
負債						
非流動負債						
借入金	499	4.6	499	4.4	100.0	0
その他の金融負債	398	3.7	389	3.4	97.6	△ 10
引当金	14	0.1	14	0.1	104.5	1
その他	144	1.3	135	1.2	94.0	△ 9
繰延税金負債	5	0.0	3	0.0	54.0	△ 2
非流動負債合計	1,061	9.7	1,041	9.2	98.1	△ 20
流動負債						
借入金	400	3.7	428	3.8	107.0	28
営業債務及びその他の債務	945	8.7	808	7.2	85.4	△ 138
その他の金融負債	170	1.6	397	3.5	233.7	227
未払法人所得税	25	0.2	95	0.8	377.4	70
引当金	179	1.6	156	1.4	87.4	△ 23
その他	841	7.7	896	7.9	106.5	54
流動負債合計	2,560	23.5	2,779	24.6	108.6	219
負債合計	3,621	33.2	3,820	33.8	105.5	199
資本及び負債合計	10,900	100.0	11,293	100.0	103.6	393

<コメント>

■資本の部
(利益剰余金)

支払配当金を上回る四半期利益の計上に伴う増加

■負債の部
(営業債務及びその他の債務)
(その他の金融負債－流動)

主に未払金の減少
主に預り金(BMS社からの研究開発償還金)の増加

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2020年度				2021年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	1,656	1,515	1,813	1,476	1,989
売上原価	383	414	404	411	392
売上総利益	1,273	1,100	1,408	1,065	1,596
販売費及び一般管理費	649	690	775	700	747
販売費	282	284	318	283	324
人件費	220	226	241	219	227
管理費他	147	180	215	199	197
研究開発費	305	370	406	421	418
その他の収益	7	△1	1	7	134
その他の費用	4	20	△7	10	11
営業利益	321	20	236	△59	554
金融収益	7	3	6	6	7
金融費用	3	3	3	4	4
税引前四半期利益	324	20	239	△58	558
法人所得税	77	6	42	△24	135
四半期利益	248	14	197	△34	423
四半期利益の帰属					
親会社所有者	244	14	194	△30	422
非支配持分	3	△0	4	△3	1
四半期包括利益	237	△6	173	306	424
E P S (円)	85.23	4.79	67.58	△10.63	147.07

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2020年度				2021年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	100	86	35	517	△143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125	△49	△137	△58	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△254	△29	△254	△23	△225
現金及び現金同等物の期末残高	2,263	2,280	1,938	2,487	2,131
フリー・キャッシュ・フロー	△26	37	△104	457	△141

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2020年度				2021年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資本的支出額（キャッシュベース）	121	46	142	73	149
有形固定資産	88	40	16	47	121
無形資産	32	6	126	26	28
減価償却費及び償却費	87	90	92	95	95
有形固定資産	47	47	48	51	53
無形資産	40	43	44	43	42

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2020年度				2021年度
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
資産	10,403	10,466	10,286	10,900	11,293
資本	7,033	7,028	6,972	7,279	7,474
親会社の所有者に帰属する持分	6,786	6,782	6,722	7,032	7,226
負債	3,370	3,438	3,314	3,621	3,820
借入金	899	899	899	899	927
親会社所有者帰属持分比率（％）	65.2	64.8	65.4	64.5	64.0
負債比率（Net DER／倍）	△0.25	△0.25	△0.20	△0.27	△0.20

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) ニューロロジー領域製品

(億円)

	2020年度				2021年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
ニューロロジー領域製品計	438	431	404	340	341
フィコンパ/Fycompa (抗てんかん剤)	64	67	70	67	74
日本	12	14	13	13	12
アメリカス	30	31	32	29	34
中国	1	1	2	0	2
EMEA	17	18	20	21	22
アジア・ラテンアメリカ	3	3	3	4	4
メチコバル (末梢性神経障害治療剤)	109	94	63	76	68
日本	33	30	30	31	24
中国	69	51	21	34	33
アジア・ラテンアメリカ	6	9	7	8	9
アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)	78	63	62	60	63
日本	29	23	22	19	18
中国	22	12	11	13	14
アジア・ラテンアメリカ	26	27	28	27	30
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	59	59	55	47	37
アメリカス	51	51	47	40	28
EMEA	6	6	7	6	7
ルネスタ (不眠症治療剤)・日本	36	33	35	35	29
デエビゴ/Dayvigo (不眠症治療剤)	1	8	8	13	26
日本	1	7	4	8	19
アメリカス	0	1	4	6	8
リリカ (疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症))・日本	61	72	71	11	16
その他	30	34	40	32	28

- ・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本、フィリピン、タイです。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。

(2) オンコロジー領域製品

(億円)

	2020年度				2021年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
オンコロジー領域製品計	477	464	482	409	561
レンピマ/Kisplyx (抗がん剤)	347	338	353	302	442
日本	37	33	28	24	25
アメリカス	215	204	202	188	244
中国	42	49	60	33	105
EMEA	39	35	43	40	48
アジア・ラテンアメリカ	14	17	19	15	20
ハラヴェン (抗がん剤)	94	92	95	95	102
日本	22	21	20	22	20
アメリカス	32	31	32	31	33
中国	1	5	6	4	9
EMEA	32	29	31	32	34
アジア・ラテンアメリカ	7	6	7	6	6
その他	36	34	34	13	17

11. 主要開発品

(1) 神経

開発品コード： E2007 一般名： ペランパネル 製品名： フィコンパ/Fycompa				自社品
薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA 受容体拮抗剤				経口剤
<p>【概要】 グルタミン酸受容体のサブタイプである AMPA 受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、米国、欧州、中国、アジアなど 70 カ国以上で承認を取得しています。また、日本、米国および中国では、4 歳以上の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する単剤療法および併用療法での承認を取得しています。欧州では、4 歳以上の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する併用療法での承認を取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、米国、欧州、アジアなど 70 カ国以上で承認を取得しています。欧州では 7 歳以上、日本と米国では 12 歳以上の全般てんかんの強直間代発作の併用療法での承認を取得しています。米国、欧州では、経口懸濁液の承認を取得しています。日本では、細粒剤の承認を取得しています。</p>				
てんかん小児適応（用法用量追加）	311 試験	中国	◎	承認（2021年7月）
部分てんかん単剤療法（効能効果追加）	335 試験	中国	◎	承認（2021年7月）
レノックス・ガストー症候群（効能効果追加）	338 試験	日米欧		PⅢ

開発品コード： E2006 一般名： レンボレキサント 製品名： デエビゴ/Dayvigo				自社品
薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤				経口剤
<p>【概要】 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。米国、カナダ等において、入眠困難、睡眠維持困難のいずれかまたはその両方を伴う成人の不眠症の適応で新薬承認を取得し、日本において、不眠症の適応で新薬承認を取得しています。また、アルツハイマー病／認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害の適応で開発中です。</p>				
アルツハイマー病／認知症に伴う不規則睡眠覚醒リズム障害（効能効果追加）	202 試験	日米		PⅡ

開発品コード： BIIB037 一般名： アデュカヌマブ 製品名： ADUHELM				共同開発品（Biogen Inc.）
薬効／作用機序：アルツハイマー病治療剤／抗 Aβ 抗体				注射剤
<p>【概要】 アデュカヌマブは、リバース・トランスレーショナル・メディシン（RTM）と呼ばれる Neurimmune のテクノロジー・プラットフォームを用いて作成されたヒト遺伝子組換えモノクローナル抗体（mAb）であり、認知障害の兆候のない健康な高齢者、または進行が異常に遅い認知機能障害のある高齢者から採取した、非特定 B 細胞ライブラリーに由来します。Biogen Inc.は、Neurimmune よりアデュカヌマブを導入しました。アデュカヌマブは、可溶性オリゴマーと不溶性線維などが凝集してアミロイドプラークを形成しうる形態のアミロイド β（Aβ）を標的とすると考えられています。2021 年 6 月に米国食品医薬品局（FDA）よりアルツハイマー病（AD）の病理に作用する初めてかつ唯一の AD 治療薬として、迅速承認されました。本迅速承認の要件として、今後検証試験による臨床的有用性の確認を行うこととなります。2020 年 10 月に欧州医薬品庁（EMA）に販売承認申請が受理され、日本においては、2020 年 12 月に新薬承認申請を行いました。オーストラリア、ブラジル、カナダ、スイス、メキシコ、イスラエル、韓国、アラブ首長国連邦において申請中です。Biogen Inc.と共同開発をしています。</p>				
アルツハイマー病	ENGAGE/ EMERGE 試験	米国 欧州 日本	◎	承認（2021年6月） 申請（2020年10月受理） 申請（2020年12月）

開発品コード： BAN2401 一般名： lecanemab				導入品（BioArctic AB）
薬効／作用機序：アルツハイマー病疾患修飾剤／抗 Aβ プロトフィブリル抗体				注射剤
<p>【概要】 アミロイド β（Aβ）プロトフィブリルに対する IgG1 抗体です。神経毒性を呈することが報告されている Aβ プロトフィブリルを除去することで、AD の進行を抑制することを期待しています。AD による軽度認知障害および軽度 AD（総称して早期 AD）を対象としたフェーズⅢ試験 Clarity AD が進行中です。また、Alzheimer's Clinical Trials Consortium（ACTC）と共同でプレクリニカル（無症状期）AD を対象としたフェーズⅢ試験 AHEAD 3-45 も進行中です。2021 年 6 月に FDA からブレイクスルーセラピーに指定されました。Biogen Inc.と共同開発を行っています。</p>				
早期 AD	301 試験（Clarity AD）	日米欧中		PⅢ
プレクリニカル AD	303 試験（AHEAD 3-45）	日米欧		PⅢ

開発品コード：E2023 一般名：lorcaserin				導入品 (Arena Pharmaceuticals)	
薬効／作用機序：ドラベ症候群治療剤／セロトニン 2C 受容体作動剤				経口剤	
<p>[概要] 選択的に脳内のセロトニン 2C 受容体を刺激することにより、GABA 作動性抑制性インターニューロンを活性化し、GABA を介したシナプス抑制を増加させることでドラベ症候群患者様の発作抑制を期待しています。肥満症治療剤適応の承認を取り下げましたが、ドラベ症候群の患者様団体から要請を受けたことから、米国にて延長アクセスプログラムを継続し、さらに、適応症取得をめざすフェーズⅢ試験が進行中です。FDA からドラベ症候群に関する希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）の指定を受けています。</p>					
ドラベ症候群	304 試験	米国		PⅢ	

開発品コード：E2027				自社品	
薬効／作用機序：レビー小体型認知症・パーキンソン病認知症治療剤／PDE9 阻害剤				経口剤	
<p>[概要] 選択的なホスホジエステラーゼ (PDE) 9 阻害作用により、細胞内のシグナル伝達に重要なサイクリック GMP (cGMP) の分解を抑制し、cGMP の脳内濃度を維持することにより、レビー小体型認知症ならびにパーキンソン病認知症に対する新たな治療薬になることを期待しています。</p>					
レビー小体型認知症、パーキンソン病認知症	203 試験	米国		PⅡ	

開発品コード：E2730				自社品	
薬効／作用機序：抗てんかん剤・神経疾患治療剤／シナプス機能モジュレーター				経口剤	
<p>[概要] 活性化状態にあるシナプス機能を選択的に調整する新規作用機序を持つ化合物です。希少てんかんを含むてんかんや、てんかん原性等に対する新たな神経疾患治療薬になることを期待しています。</p>					
てんかん	201 試験	米国		PⅡ	

開発品コード：E2814				共同創出品 (ロンドン大学)	
薬効／作用機序：抗 MTBR タウ抗体				注射剤	
<p>[概要] E2814 は、エーザイとユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗 MTBR タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット (DIAN-TU) が実施する臨床試験において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定され、優性遺伝 AD を対象としたフェーズⅡb/Ⅱ試験を開始しました。</p>					
◎ アルツハイマー病	103 試験	欧米		PⅠ/Ⅱ	

開発品コード：E2511				自社品	
薬効／作用機序：シナプス再生剤				経口剤	
<p>[概要] E2511 は、ダメージを受けたコリン作動性神経の回復およびシナプス再形成を促し、神経変性による脳萎縮を抑制することを期待しています。</p>					
アルツハイマー病	—	米国		PⅠ	

開発品コード：EA4017			自社品		経口剤
がん化学療法に伴う末梢神経障害 (EA ファーマが開発)	—	日本		PⅠ	

(2) がん

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ 製品名：レンビマ				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／キナーゼ阻害剤				経口剤
<p>【概要】血管内皮増殖因子受容体（VEGFR）や線維芽細胞増殖因子受容体（FGFR）に加え、血小板由来増殖因子受容体（PDGFR）、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼ（RTK）に対する選択的阻害活性を有する経口投与可能な、自社創出の新規結合型チロシンキナーゼ阻害剤です。甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど 75 カ国以上で承認を取得しています。胸腺がんに係る適応で、日本で承認を取得しています。また腎細胞がん（セカンドライン）のエベロリムスとの併用療法に係る適応で、米国、欧州など 60 カ国以上で承認を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応については、製品名 Kisplyx を使用しています。さらに、肝細胞がん（ファーストライン）に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなど 70 カ国以上で承認を取得しています。パムプロリスマブとの併用療法について、子宮内膜がんに係る適応で、2021 年 7 月、米国において承認を取得し、同様の適応において、カナダ、オーストラリアなど 10 カ国以上で承認（条件付き承認を含む）を取得しています。厚生労働省より子宮体がんを予定される効能又は効果として、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されています。2021 年 4 月、パムプロリスマブとの併用療法について進行性腎細胞がんに係る申請が FDA より優先審査に指定されました。Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.（米メルク社）と共同開発をしています。</p>				
抗 PD-1 抗体パムプロリスマブとの併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
子宮内膜がん（全身療法後）	309 試験	米国 欧州 日本	◎ ◎	承認（2021 年 7 月） 申請（2021 年 3 月受理） 申請（2021 年 4 月）
腎細胞がん・ファーストライン	307 試験	欧州 日本 米国	 ◎	申請（2021 年 3 月受理） 申請（2021 年 3 月） 申請（2021 年 4 月受理）
子宮内膜がん・ファーストライン	LEAP-001 試験	日米欧中		PⅢ
肝細胞がん・ファーストライン	LEAP-002 試験	日米欧中		PⅢ
メラノーマ・ファーストライン	LEAP-003 試験	米欧中		PⅢ
非扁平上皮非小細胞肺癌ん・ファーストライン	LEAP-006 試験	日米欧中		PⅢ
非小細胞肺癌ん・セカンドライン	LEAP-008 試験	日米欧		PⅢ
頭頸部がん・ファーストライン	LEAP-010 試験	日米欧中		PⅢ
膀胱がん（シスプラチン不適格）・ファーストライン	LEAP-011 試験	日米欧中		PⅢ
◎ 食道扁平上皮がん・ファーストライン	LEAP-014 試験	日米欧中		PⅢ
胃腺がん、胃食道接合部腺がん・ファーストライン	LEAP-015 試験	日米欧中		PⅢ
大腸がん・サードライン	LEAP-017 試験	米欧		PⅢ
メラノーマ・セカンドライン	LEAP-004 試験	米欧		PⅡ
固形がん（トリプルネガティブ乳がん、卵巣がん、胃がん、大腸がん、膠芽腫、胆道がん、膵臓がん）	LEAP-005 試験	米欧		PⅡ
頭頸部がん・セカンドライン	LEAP-009 試験	米欧		PⅡ
固形がん（子宮内膜がん、腎細胞がん、頭頸部がん、尿路上皮がん、非小細胞肺癌ん、メラノーマ）	111 試験 —	米欧 日本		PⅠ / Ⅱ PⅠ
抗 PD-1 抗体パムプロリスマブと肝動脈化学塞栓療法との併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
肝細胞がん・ファーストライン	LEAP-012 試験	日米欧中		PⅢ
抗がん剤エベロリムスとの併用療法 米メルク社と共同開発（効能効果追加）				
腎細胞がん・ファーストライン	307 試験	日米欧		PⅢ
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発（効能効果追加）				
肝細胞がん	—	日本		PⅠ

◎PD-L1 陽性の非小細胞肺癌ん（ファーストライン）を対象とした LEAP-007 試験（フェーズⅢ）について、独立データモニタリング委員会の勧告に従い、中止を決定したため、本表から削除しました。

日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、P = Phase：臨床試験段階

◎：2021 年 4 月以降の進捗

開発品コード： E7389 一般名： エリブリン 製品名： ハラヴェン				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				注射剤
[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなど 75 カ国以上で乳がんに係る承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなど 75 カ国以上において脂肪肉腫（日本では悪性軟部腫瘍）に係る適応追加の承認を取得しています。				
単剤療法（剤形追加）				
リボソーム製剤	—	日欧		PI
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発（剤形追加）				
リボソーム製剤	120 試験	日本		PI / II

開発品コード： E7438 一般名： タゼメトスタット 製品名： タズベリク				導入品（Epizyme, Inc.）
薬効／作用機序：抗がん剤／EZH2 阻害剤				経口剤
[概要] ヒストンメチル基転移酵素を構成するタンパク質の一つである EZH2 は、エピジェネティック関連酵素として、発がんプロセスにおいて重要な役割を担っていると考えられています。タズベリクは、Epizyme, Inc.が独自の創薬プラットフォームから創製した、ファーストインクラスの経口投与可能な低分子化合物であり、EZH2 の阻害を介した抗腫瘍効果が期待されています。当社は本剤の日本における開発・商業化権を保有しています。2021 年 6 月、日本において、EZH2 遺伝子変異陽性の濾胞性リンパ腫に係る適応で承認を取得しました。				
B 細胞性非ホジキンリンパ腫	206 試験	日本	◎	承認（2021 年 6 月）

開発品コード： H3B-6545				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／ER α 阻害剤				経口剤
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体（ER） α 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。ER 陽性／HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。				
乳がん	101 試験	米欧		PI / II
乳がん（CDK4/6 阻害剤パルボシクリブとの併用療法）	—	米欧		PI

開発品コード： E7090				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／FGFR1、2、3 阻害剤				経口剤
[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子（FGF）受容体（FGFR1、FGFR2、FGFR3）選択的チロシンキナーゼ阻害剤であり、FGFR2 融合遺伝子を有する切除不能胆管がん（胆道がんの一種）を対象にフェーズ II 試験を行っています。FGFR2 融合遺伝子を有する切除不能胆道がんを予定される効能・効果として、厚生労働省より希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されています。				
胆管がん	201 試験	日中		PII
乳がん	—	日本		PI

開発品コード： MORAb-202				自社品
薬効／作用機序：抗がん剤／ファルレツズマブ-エリブリン複合体				注射剤
[概要] MORAb-202 は、既に承認されている抗がん剤エリブリンを結合した抗体薬物複合体（ADC）です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体 α 高発現子宮内膜がん、卵巣がん、肺がん、乳がんなどへの治療効果を期待しています。2021 年 6 月、Bristol Myers Squibb と共同開発・共同商業化に関するグローバルな独占的戦略的提携契約を締結しました。				
固形がん	—	米国		PI / II
固形がん	—	日本		PI

開発品コード：H3B-6527		自社品		経口剤
肝細胞がん	—	米欧	PI	

開発品コード：H3B-8800		自社品		経口剤
血液がん	—	米欧	PI	

開発品コード：E7386		共同創出品（PRISM BioLab）		経口剤
固形がん	—	日欧	PI	
固形がん（レンパチニブとの併用療法）	—	日本	PI	

開発品コード：E7130		共同創出品（ハーバード大学）		注射剤
固形がん	—	日本	PI	

開発品コード：E7766		自社品		注射剤
固形がん	—	米欧	PI	

©MORA b-009 について、米国、欧州でフェーズ I / II 段階にありました中皮腫を対象とした開発を終了したため、本表から削除しました。

(3) 消化器

開発品コード： AJM300 一般名： カロテグラストメチル				自社品
薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／ $\alpha 4$ インテグリン阻害剤				経口剤
[概要] $\alpha 4$ インテグリンを阻害することにより、リンパ球の接着・浸潤を防ぐ新規作用機序を有します。経口 $\alpha 4$ インテグリン阻害剤として世界ではじめての製品化をめざしています。2021 年 5 月、EA ファーマが日本において製造販売承認申請を行いました。EA ファーマとキッセイ薬品が共同開発をしています。				
潰瘍性大腸炎	—	日本	◎	申請 (2021 年 5 月)

開発品コード： E6007 一般名： milategrast				自社品
薬効／作用機序：潰瘍性大腸炎治療剤／インテグリン活性化阻害剤				経口剤
[概要] インテグリン活性化阻害による白血球全般の接着・浸潤を抑制する新規作用機序を有する化合物です。科学技術振興機構の産学共同実用化開発事業として、EA ファーマが筑波大学と共同で製品化をめざしています。EA ファーマが開発をしています。				
潰瘍性大腸炎	201 試験	日本		P II

開発品コード： E6011 一般名： quetmolimab				自社品
薬効／作用機序：クローン病／ヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体				注射剤
[概要] エーザイグループのカン研究所において創製された、世界初のヒト化抗フラクタルカインモノクローナル抗体です。炎症性腸疾患をはじめとする炎症性疾患の血管内皮細胞に発現し、炎症反応を惹起するフラクタルカインを中和することによる抗炎症作用を期待しています。EA ファーマが開発をしています。				
クローン病	ET2 試験	日欧		P II

開発品コード： EA4000		導入品 (Norgine)		経口剤
腸管洗浄剤 (EA ファーマが開発)	—	日本		P I / II

開発品コード： E3112		自社品		注射剤
肝臓疾患 (EA ファーマが開発)	—	日本		P I

開発品コード： AJM347		自社品		経口剤
炎症性腸疾患 (EA ファーマが開発)	—	欧州		P I

開発品コード： EA1080		自社品		経口剤
炎症性腸疾患 (EA ファーマが開発)	—	欧州		P I

開発品コード： EA3355		導入品 (Dr. Falk Pharma)		経口剤
肝臓疾患 (EA ファーマが開発)	—	日本		P I

(4) その他

開発品コード：E5564 一般名：エリトラン				自社品
薬効／作用機序：COVID-19 による重症化抑制／TLR4 拮抗剤				注射剤
<p>【概要】細菌が持つエンドトキシンの活性本体である Lipid A の化学構造アナログで、天然物有機合成技術を駆使した、TLR (Toll-Like Receptor) 4 拮抗剤です。サイトカインストームの原因となる多種のサイトカイン産生シグナルの最上流に位置する TLR4 の活性化を阻害することで、COVID-19 による炎症や重症化を抑えることが期待されています。GCAR (Global Coalition for Adaptive Research) と共同で開発しています。</p>				
COVID-19 による重症化抑制	REMAP-COVID	米国		PⅢ

開発品コード：E6742		自社品	経口剤
自己免疫疾患	—	日米	PI

開発品コード：E8001		自社品	注射剤
臓器移植に伴う拒絶反応	—	日本	PI